



## テニス部ダブルスで県高校総体制覇！

### 県高校総体各競技 強豪校相手に全力出し切る

「2018 彩る感動 東海総体」のキャッチフレーズのもと、静岡・愛知・岐阜・三重の東海エリア 4 県と和歌山県で開催される今年度のインターハイ。その出場権をかけた県高校総体が、6 月上旬県内各地で開催され、12 競技に 182 名大選手団を送った本校は、各競技において県上位に名を連ねる強豪校と互角の戦いを繰り広げ、心に残る熱戦を披露してくれた。

団体競技でインターハイ出場のエースを最後まで争ったのは、今年も**テニス部女子団体**であった。決勝でライバル山形東と最後まで熱戦を展開したものの 1-2 と惜敗し、団体での全国大会出場は来年以降に持ち越された。しかし、個人戦において、**シングルス**で**矢野桜子**（3 年）が準優勝に輝きインターハイの切符を手中にすると、**ダブルス**ではさらに勢いに乗り、**矢野桜子・石澤真衣子**（1 年）ペアが並み居る強敵を次々に倒して**優勝**を飾り、団体戦の悔しさを見事に晴らしてくれた。また、**カヌー**競技においては、5 月のアジア・パシフィック大会でメダルを獲得した増川知保を中心にインターハイ出場への期待がかかったものの、全国トップの力を誇る谷地高勢の壁を突破できず、2 年続けて出場権を逃す悔しい結果となった。

昨年ベスト 4 入りを果たした**ハンドボール部**は上山明新館高校を大差で破ってベスト 8 入りを果たすと、準々決勝では昨年の覇者北村山高校と激突。前半は一步も譲らず 12-13 と一点差で折り返し、後半も一進一退の攻防を見せたものの、最後に突き放され 22-31 で悔しい敗戦となった。とはいえ、昨年のような絶対エースがいない中で、チームとして最後まで粘り強く戦った姿には、大きな拍手を送りたい。**弓道男子個人**、**剣道女子個人**では、全国への出場こそ逃したものの、上位進出を果たして東北大会への出場権を獲得した選手がおり、東北の舞台での活躍を期待したい。各競技における、選手諸君の健闘を心から讃える。

なお水泳競技は別日程で行われ、7 種目で入賞し東北大会出場権を獲得した（詳細は次号掲載）

#### 【県高校総体上位入賞一覧】 <三位以上>

優 勝：女子テニス・ダブルス 矢野桜子（3 年）・石澤真衣子（1 年）

準優勝：女子テニス団体、女子テニス・シングルス 矢野桜子

カヌー男女団体 K-2 女子 500m 増川知保（3 年）・佐藤奈津（1 年）

K-4 女子 500m 五十嵐晴香（3 年）・増川知保・西田美優（2 年）・佐藤奈津

三 位：弓道男子個人 石井利尚（3 年）、女子テニス・シングルス 石澤真衣子

カヌー K-1 500m 増川知保

※剣道女子個人 佐藤百恵（1 年）ベスト 8 で東北大会出場権獲得

# 祝 放送部 2部門で県1位の快挙!

## 第48回県高校放送コンテスト・第65回NHK杯全国高校放送コンテスト県予選会

〈NHK杯全国放送コンテスト出場権獲得〉

朗読部門 第1位 柏倉さくら(3年) — 参加57人中トップを獲得

創作テレビドラマ部門 第2位 「占い少女」 — 茂木幸乃、鈴木茉緒(3年)ほか8名出場

テレビドキュメント部門 第4位 「特殊詐欺に触れて」

— 清野美優、橋見歩、垂石彩華(3年)ほか9名出場

創作ラジオドラマ部門 第1位 「今はまだ…」

— 柏倉さくら、武田善長、高橋美咲(3年)ほか10名出場

〈全国高校放送コンテストは7月23～26日 東京：オリンピックセンター、NHKホールで開催〉

## 【第21回東北高等学校カヌースプリント選手権】 女子K-4東北を制す

西川町月山湖で行われた東北高校大会において、女子カヤック4(4人乗り)に出場した本校女子カヌー部は、五十嵐晴香(3年)・増川知保(3年)・西田美優(2年)・佐藤奈津(1年)の四選手が息のあったパドルさばきを見せ、1位でゴール。県高校総体の悔しさを、見事晴らして東北チャンピオンに輝いた。この勢いで、国体予選では優勝をめざし、一人でも多く福井国体に出場してもらいたいと思う。

## 体育祭2018 迫る! 今年は天候に恵まれますように

### スローガン: 『勉強してはいけない24h』

7月9日(月) 開祭式(長岡山陸上競技場) クラス対抗リレー、バレーボール、ソフトボール

7月10日(火) バスケットボール、ミニサッカー、卓球、長縄跳び、閉祭式

昨年は台風の影響を受け、順延・一部競技変更があったが、今年こそ二日間天候に恵まれ、クラスの和を最大限に発揮して、戦いきってもらいたいと願っている。暑さの厳しい時期となるので、各自熱中症対策も最優先で行うこと。特に睡眠不足は厳禁です!!

## 吹奏楽部定演 ～素晴らしい演奏を披露～

54回の歴史を数える本校吹奏楽部による定期演奏会が、6月3日(日)午後2時から、寒河江市市民文化会館で行われ、昨年を上回る多くの聴衆が会場を埋め、時を忘れて演奏を楽しんだ。特に今年度の演奏会では、第二部で、東京都交響楽団副首席奏者を務めておられるプロのコントラバス奏者の渡邊章成氏をゲストにお迎えし、本校吹奏楽部顧問でクラリネット奏者でもある鈴木奈津子先生との二重奏が披露されるなど、意欲的な企画が多かった。三部で構成された今回の定演は、細部にまで配慮が行き届き、子どもたちから大人まで、聴衆全てが楽しむことが出来る、素晴らしい演奏会になったのであるまいか。